

第二四二回ペン川柳会

令和六年七月二十九日

お題 「浴・浴びる」

■ 塚田 (拿々) ただ

浴衣着た古女房が若く見え
民からの非難浴びてもただスルー

■ 八木 (明迷) めいめい

銃弾を浴びて拳を切り札に
浴びるほど薬を飲んで微減税

■ 三春 (火酒) ウオツカ

石はじけ返り血浴びた痩せギツネ
ゴミ風船なかで金さん〇〇まみれ

■ 浜田 (我々好) ウイスキー

熱い湯を浴びて江戸っ子鼻にかけ
浴びるほど飲んでも酒は百薬の長

■ 稲宮 (井波) いなみ

拍手浴びメジャーリーグは円高だ
日を浴びるV D 撮る前に熱中症

■ 松谷 (零門) れいもん

絶賛が転じて今年ブーイング
ほんまかなシャワーだけなら認知症

■ 山縣 (安兵衛) やすべえ

日光浴それって今じゃ熱中症
浴びるほど酒をくらった日もあった

■ だし (だし)

浴びるほどビールを飲んだ夢を見た

浴場で絹の肌見て欲情す

■ 安藤 (晃二)
てるつぐ

海水浴真水をかぶる至福かな

何故に浴びる程飲む丸の内

世話人 塚田 實 (拿々)
だだ